

第24期第1回常任理事会議事録

日時 昭和61年9月8日(月) 13:30~18:00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 竹内, 河村, 村上, 中村, 山川, 荒川,
松野, 土屋, 能登

議 題

A. 報告事項

各委員会報告

[庶務]

ア. 資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

(1)「第9回風工学シンポジウム」開催案内の機関誌への掲載依頼。

(2)「日本学術会議だより」第2号の機関誌への掲載依頼。

(3)「第24回理工学における同位元素研究発表会」の共同主催および運営委員(1名)の指名依頼

(4) フランクフルト・ブックフェアでの「学会誌」展示会への出品依頼。

(5) 第23回秩父宮記念学術受賞候補者の推薦依頼。

イ. 倉庫の整理については次回常任理事会までに庶務委員が現場を調査のうえ検討する。

ウ. 根本順吉会員からの第24期役員選挙に関する投書について、「天気」の会員の広場への投稿をすすめる。

[会計]

ア. 資料にもとづき7月分および8月分の収支状況について報告があった。

イ. 数値予報シンポジウムの経費は予算額に比べて支出が少なかった。

ウ. 気象集誌特別号出版の不足分についての寄付は電気事業連合会からは入金があり, 日本電子工業振興会(コンピュータ関連会社)へも申し込んである。

[天気]

ア. 9月号の目次及び10月号, 11月号の予定内容が示された。

イ. 編集委員会を強化することについて報告があった。

[集誌]

ア. 特別号発行の内容及び日程等の概略について報告があった。

イ. アルバイトを恒常的に雇う必要がある旨の報告があった。

[気象研究ノート]

順調に進行している。

[講演企画]

ア. 名古屋で開催される秋季大会には合計191編の論文が集まり, 座長には総合討論を依頼する。

イ. 大会の前日開かれる分科会を講演企画委員会としては全面的にバックアップする。

ウ. ポスターセッションを評価して現在の3セッションに加えて4セッションにしたい。このため, 会員にアンケートを出して反応をみた上で, 来年の春季大会(筑波)から実施したい。

オ. 昭和62年春季大会(筑波)の日程が次のとおり報告された。

5月26日から28日まで

[総合計画]

ア. 前年度に引き続き常設の委員会は作らず, 浅井, 荒川両理事で運営する。問題に応じて委員会を作り検討する。

当面は学術会議関係と会員増について検討する。

イ. 理事長から事務全体の将来計画として, 事務関係の専務理事を作ってはどうかの意見があった。

[教育と普及]

ア. 第20回夏季大学について報告があった。

イ. 9月11日(木)に委員会を開催して次の事項を検討する。

(ア) 第21回夏季大学について

(イ) 普及講座について

(ウ) 第24期に行う活動について

(エ) その他

[国際学術交流]

開発途上国からの数値予報シンポジウムへの出席者に対する補助は結果的にできなかった。

B. 審議事項

1. 奨励金について

竹内理事から8月26日(火)選考委員会を開き, 奨励金受領者選考規定によって理事長へ報告した内容について説明があり, 了承されたので, 全理事の投票を行うこととなった。

なお, 本年は4件受領者が選定されたが, 原則は3件

であるので、前例としないことで承認された。

2. 昭和62年度予算案について

土屋理事から昭和62年度予算案（試案）の説明があった。これにともない各委員会から昭和62年度の新規事業および継続事業で経費増を必要とするものにつき、次回の常任理事会の前までに提出してもらい、要求を盛り込んだ予算案を作成し、今後更に常任理事会および理事会

で検討を進めてゆくことが了承された。

3. 各委員会の委員の承認について

各委員会から提出された第24期の各委員会委員は一括承認された。

4. 会員の新規加入の承認について

個人会員牟田佳史ほか26名および団体会員群馬大学附属図書館の新規加入が承認された。

第24期第1回理事会議事録

日時 昭和61年7月21日（月）14：30～17：20

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元、関口、土屋、浅井、廣田、松野、河村、杉村、能登、荒川、重原、村上、中村、山川、相原（監事）、浜田（監事）

（理事27名中出席理事14名、委任状10名で理事会成立）

議事

1. 山元第23期理事長を仮議長に選出
2. 理事長（第24期）の選任について
 - （1）議長から理事長に立候補の意志のある理事がいるかどうかの確認を行ったがいなかった。
 - （2）次に理事長の推薦を提案、各理事から山元理事長を推薦する発言があり、第24期の理事長に山元理事長が選任された。
 - （3）引き続き第24期の理事長に就任した山元理事長は「学会発展のために尽力したいのでご協力をお願いしたい」と挨拶された。

3. 理事長代理指名について

理事長の指名により関口理事が理事代理となった。

4. 常任理事の選任について

次のとおり選任された。

山元理事長（関西地区）	浅井理事（関東地区）
荒川理事（関東地区）	松野理事（関東地区）
竹内理事（関東地区）	河村理事（関東地区）
村上理事（関東地区）	山川理事（関東地区）
能登理事（関東地区）	中村理事（関東地区）
土屋理事（関東地区）	杉村理事（関東地区）
重原理事（関東地区）	

5. 常任理事（含理事）の事務分担について

次のとおり決定した。

庶務（正）中村理事、（副）荒川、村上、山川、能

登各理事

会計（正）土屋理事、（副）河村理事

「天気」編集（正）杉村理事、（副）河村理事

「気象集誌」編集（正）松野理事、（副）村上理事

「気象研究ノート」編集

（正）竹内理事、（副）河村理事

講演企画（正）村上理事、（副）中村理事

学会賞（正）松野理事

藤原賞（正）廣田理事

奨励金各賞（正）竹内理事、（副）関口理事

総合計画（正）浅井理事、（副）荒川理事

教育と普及（正）能登理事

国際学术交流（正）関口理事、（副）浅井理事

学術用語（正）重原理事

6. 評議員の選出について

次のとおり選出された。

内田英治（気象庁長官）

菊池幸雄（気象庁予報部長）

駒林 誠（気象庁観測部長）

立平良三（気象庁海洋気象部長）

片山 昭（気象大学校長）

岸保勘三郎（元東京大学教授）

増沢謙太郎（元気象庁長官）

松本誠一（日本気象協会研究所長）

7. 各委員会委員について

次期常任理事会までに第24期の各委員会名簿を提出してもらうことになった。

8. 引き継ぎ事項について

合同会議で引き継がれた事項について、それぞれの担当理事が検討してゆくことになった。